

■清潔性について

抗菌性

バスナフローレ、バスナルティは抗菌性能を持っており、浴室内で発生する雑菌を抑えます。
また施工材料である、バスナシールSS、専用溶接棒にも抗菌性を施しています。

■バスナフローレ・バスナルティの抗菌効果

	抗菌活性値			
	大腸菌	黄色ブドウ球菌	MRSA	抗菌性評価
バスナフローレ	6.3	4.8	3.7	○
バスナルティ	6.3	4.8	4.6	○
専用溶接棒	6.3	4.8	4.6	○
バスナシールSS	6.0	5.0	4.7	○

抗菌性 試験方法

評価基準
抗菌性あり
(床材は、大腸菌、黄色ブドウ球菌、MRSAのそれぞれの抗菌活性値が2.0以上であれば、抗菌性能があることを示します。)

抗菌加工製品—抗菌性試験方法・抗菌効果(JIS Z 2801)
減菌した試料の上に、1/500普通ブイオンを含む大腸菌・黄色ブドウ球菌の各菌液を滴下し、減菌した被覆フィルムをかぶせた後、これらを35±1°C、90%RH以上で24時間保存後、菌を洗い出し、寒天平板培養法にて生菌数を測定。抗菌活性値は、無加工品と同様の試験を行い、下記の式に従って算出する。

$$\text{抗菌活性値} = \log \frac{B}{C}$$

B: 無加工試験片の24時間後の生菌数(個)

C: 抗菌試験片の24時間後の生菌数(個)

(注意) 溶接棒については抗菌溶接棒をお使いください。

※データは特記のない場合は全て社内データです。
数値は試験値であり、保証値ではありません。

防カビ性能

カビは浴室の大敵です。バスナフローレ、バスナルティは防カビ性能を持っており、カビの発育を低減します。
また、施工材料であるバスナセメントEPO、バスナシールSS、専用溶接棒にも防カビ性を施しています。

■バスナフローレ・バスナルティの防カビ性

バスナフローレ	0
バスナルティ	0
専用溶接棒	0
バスナセメントEPO	0
バスナシールSS	0

防カビ性 試験方法

評価基準	防カビ性あり…0あるいは1。 肉眼でカビの発育が認められない。	
	結果の表示	目視による試験結果の表示
	0	肉眼及び顕微鏡下でカビの発育は認められない。
	1	肉眼ではカビの発育が認められないが、顕微鏡下では確認される。
	2	菌糸の発育が肉眼では認められるが、発育部分の面積は試料の全面積の25%を超えない。
3	菌糸の発育が肉眼で認められる。発育部分の面積は試料の全面積の25%を超える。	

(財)日本紡績検査協会等による

カビ抵抗性試験：試験方法A(JIS Z 2911)

カビ混合孢子懸濁液(アスペルギルス ニゲル、ペニシリウム、フニコロスム、ベシロミセス、パリオッティ、グリオクラジウム、ビレンス、ケトミウム、グロボスム)を噴霧し、29°C、相対湿度90%以上で4週間培養し、菌糸の発育を最初に肉眼、または必要に応じて実体顕微鏡で確認します。

※データは特記のない場合は全て社内データです。数値は試験値であり、保証値ではありません。